

平成18年度 第1回 受注登録企業動向調査結果報告書

(平成18年6月末現在)

財団法人 京都産業21

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業の受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300 企業

業種別内訳 (産業分類 中分類)

鉄鋼・非鉄関係	30 企業	金属製品関係	45 企業
一般機器関係	45 企業	電気機器関係	45 企業
輸送用機器関係	30 企業	精密機器関係	30 企業
縫製関係	45 企業	樹脂製品関係	30 企業

(3) 調査時点

平成 18 年 6 月 30 日現在

(前回調査時点 平成 18 年 3 月 31 日)

(4) 調査方法

調査票 (別紙様式) の郵送によるアンケート方式

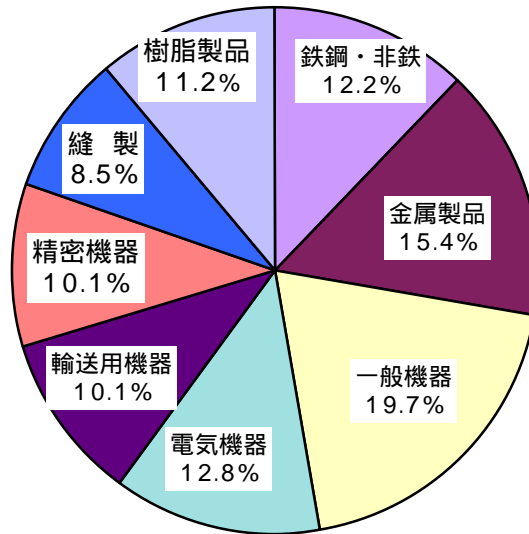
調査項目 (受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力)

(5) 回収状況

調査対象企業数	300 企業		
回収企業	188 企業		
内訳	鉄鋼・非鉄関係	23 企業	(12.2%)
	金属製品関係	29 企業	(15.4%)
	一般機器関係	37 企業	(19.7%)
	電気機器関係	24 企業	(12.8%)
	輸送用機器関係	19 企業	(10.1%)
	精密機器関係	19 企業	(10.1%)
	縫製関係	16 企業	(8.5%)
	樹脂製品関係	21 企業	(11.2%)
回収率	62.7%		

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫 製	樹脂製品
個人	19 10.1%	3 13.0%	1 3.4%	1 2.7%	2 8.3%	3 15.8%	1 5.3%	7 43.8%	1 4.8%
~300万円	14 7.4%	2 8.7%	1 3.4%	0 0.0%	3 12.5%	1 5.3%	2 10.5%	3 18.8%	2 9.5%
301~999万円	13 6.9%	0 0.0%	2 6.9%	3 8.1%	1 4.2%	2 10.5%	2 10.5%	1 6.3%	2 9.5%
1000~2,000万円	104 55.3%	12 52.2%	22 75.9%	24 64.9%	13 54.2%	11 57.9%	8 42.1%	4 25.0%	10 47.6%
2001~5,000万円	28 14.9%	3 13.0%	3 10.3%	8 21.6%	3 12.5%	2 10.5%	3 15.8%	1 6.3%	5 23.8%
5,000万円超	10 5.3%	3 13.0%	0 0.0%	1 2.7%	2 8.3%	0 0.0%	3 15.8%	0 0.0%	1 4.8%
合 計	188 100%	23 100%	29 100%	37 100%	24 100%	19 100%	19 100%	16 100%	21 100%

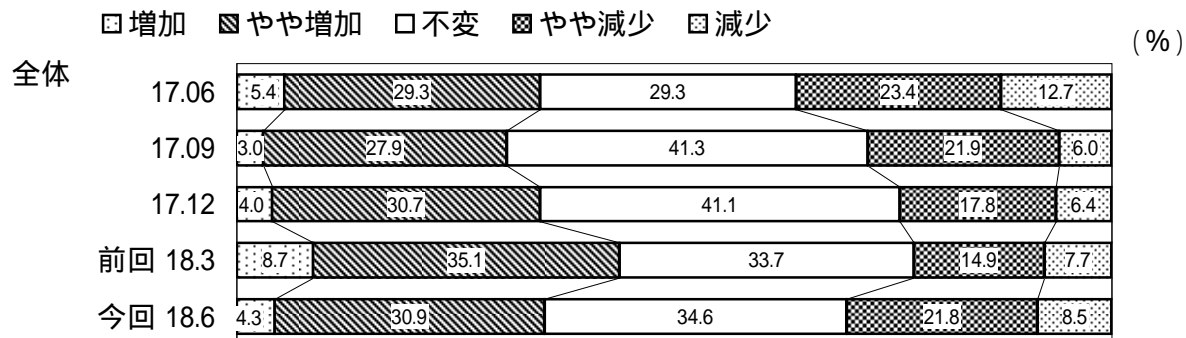
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

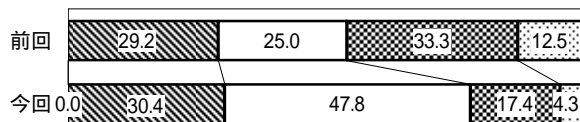
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫 製	樹脂製品
1~5人	34 18.1%	5 21.7%	1 3.4%	2 5.4%	4 16.7%	5 26.3%	2 10.5%	10 62.5%	5 23.8%
6~10人	33 17.6%	4 17.4%	7 24.1%	9 24.3%	3 12.5%	4 21.1%	2 10.5%	1 6.3%	3 14.3%
11~20人	45 23.9%	5 21.7%	11 37.9%	13 35.1%	4 16.7%	2 10.5%	6 31.6%	3 18.8%	1 4.8%
21~30人	26 13.8%	3 13.0%	6 20.7%	6 16.2%	4 16.7%	3 15.8%	1 5.3%	0 0.0%	3 14.3%
31~50人	22 11.7%	1 4.3%	1 3.4%	5 13.5%	4 16.7%	4 21.1%	3 15.8%	1 6.3%	3 14.3%
51人以上	28 14.9%	5 21.7%	3 10.3%	2 5.4%	5 20.8%	1 5.3%	5 26.3%	1 6.3%	6 28.6%
合 計	188 100%	23 100%	29 100%	37 100%	24 100%	19 100%	19 100%	16 100%	21 100%

3. 調査結果

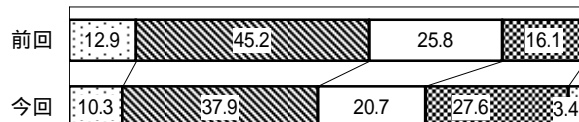
(1) 受注量について



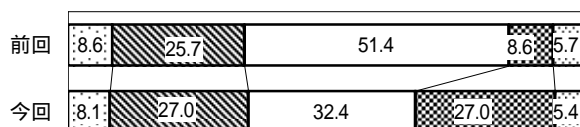
鉄鋼・非鉄



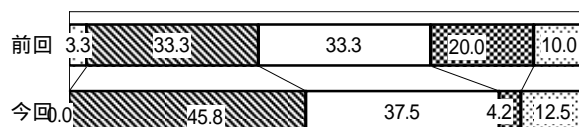
金属製品



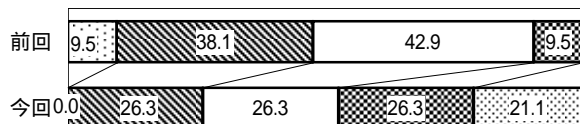
一般機器



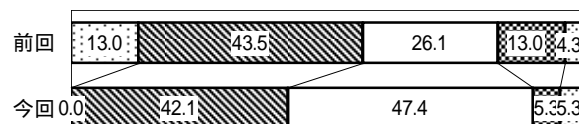
電気機器



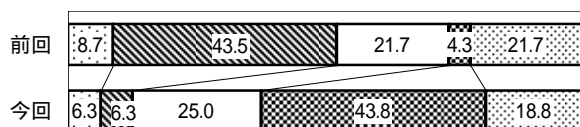
輸送用機器



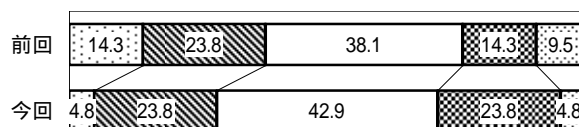
精密機器



縫製



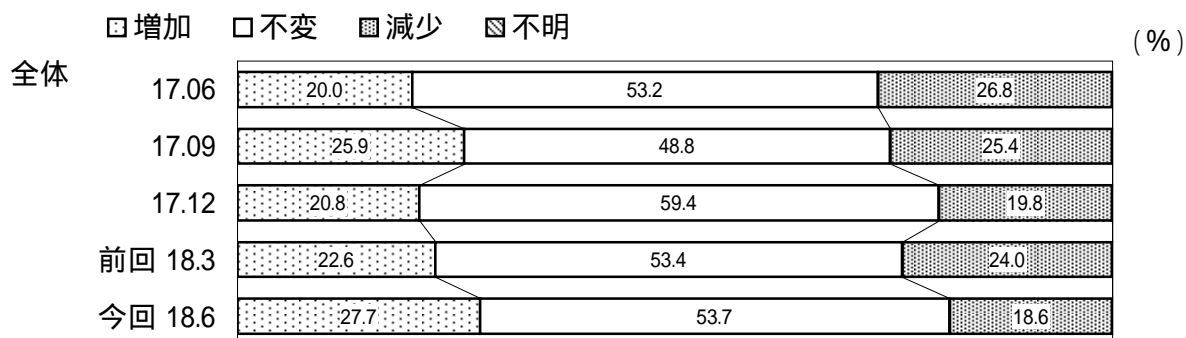
樹脂製品



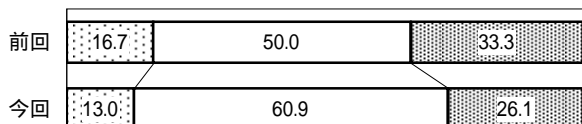
・ 全体では、4期連続で「増えた」（「増加」又は「やや増加」）とする企業が「減った」（「減少」又は「やや減少」）とする企業を上回っているが、前回調査に比べて「増えた」が減少し、「減った」が増加している。

・ 業種別には、鉄鋼・非鉄、金属製品、一般機械、電気機器、精密機器で「増えた」が「減った」を上回っており、輸送用機器、縫製に受注の後退がみられるものの、全般的には堅調な推移となっている。

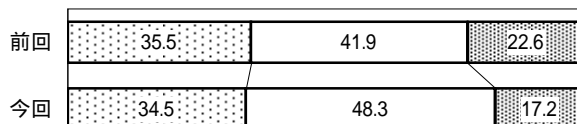
(2) 受注量の見通しについて



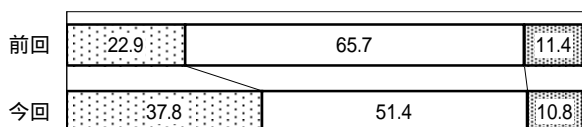
鉄鋼・非鉄



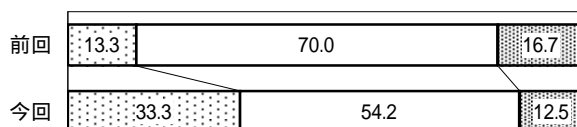
金属製品



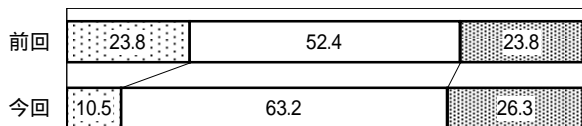
一般機器



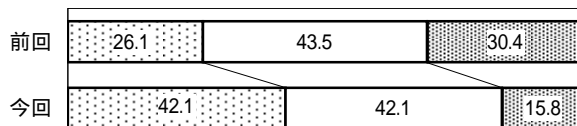
電気機器



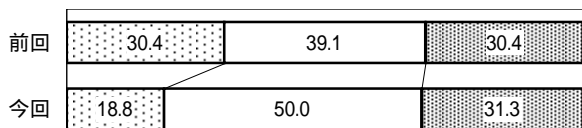
輸送用機器



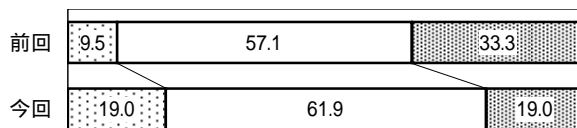
精密機器



縫製



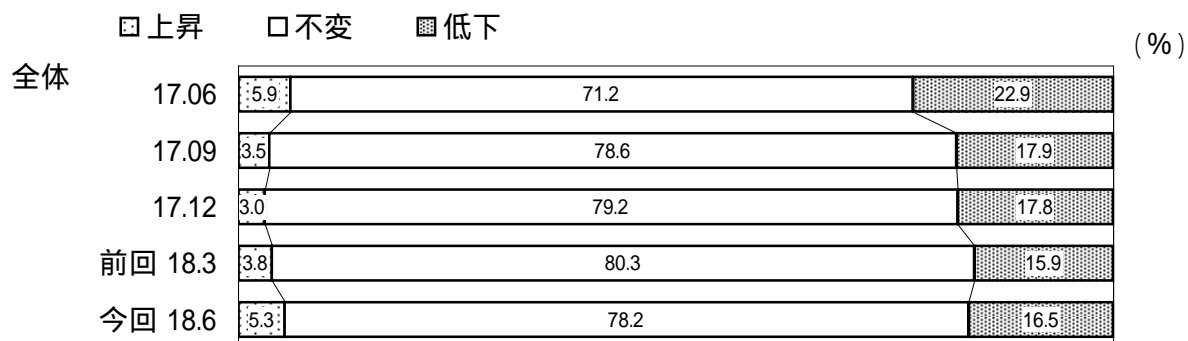
樹脂製品



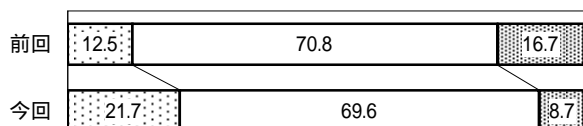
・ 前回調査に比べて「増加」とする企業が増え、「減少」とする企業が減っており、また2期連続で「増加」が「減少」を上回る結果となっている。

・ 業種別では、輸送用機器、縫製を除き「減少」とする企業が前回調査に比べて減少しており、特に電気機器、精密機器では大幅な増加を見込んでいる。

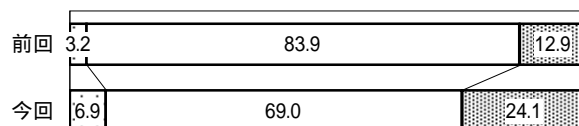
(3) 受注単価について



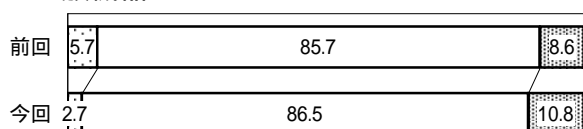
鉄鋼・非鉄



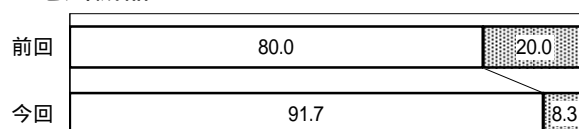
金属製品



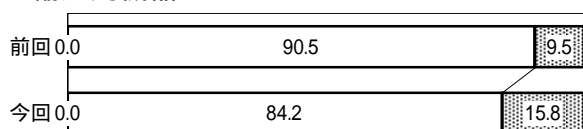
一般機器



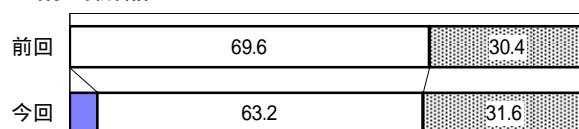
電気機器



輸送用機器



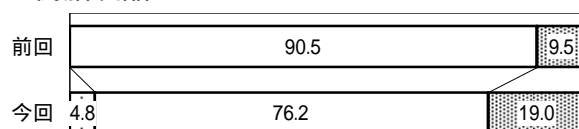
精密機器



縫製



樹脂製品



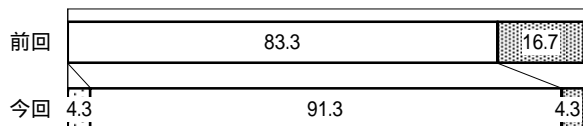
・ 全体では、「不変」とする企業が8割近くを占める傾向で推移しているが、前回調査に比べて「上昇」と回答する企業が1.5ポイント増加している。

・ 業種的には、鉄鋼・非鉄を除く全業種で「低下」とする企業が「上昇」と回答する企業を上回っており、受注企業にとっては依然として厳しい状況にあることがうかがえる。

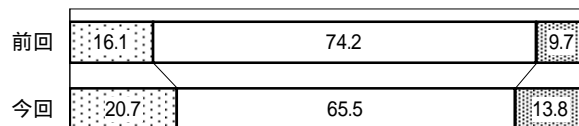
(4) 資金繰りについて



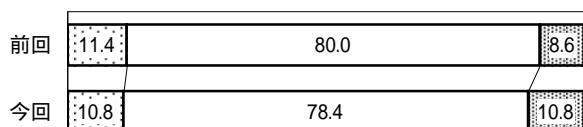
鉄鋼・非鉄



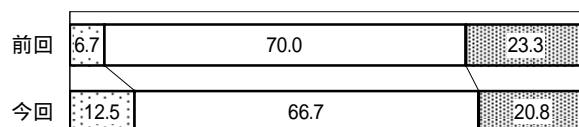
金属製品



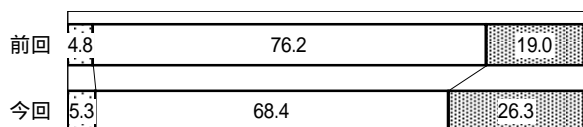
一般機器



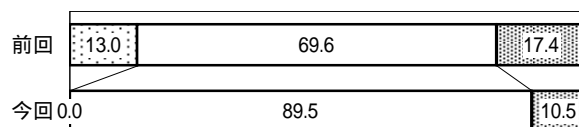
電気機器



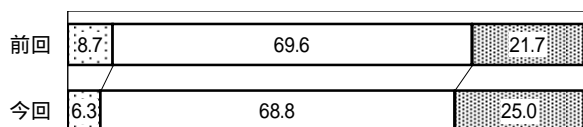
輸送用機器



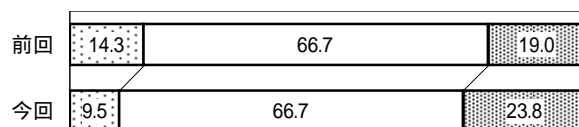
精密機器



縫製



樹脂製品



・ 全体では、7割を「不変」が占め、「悪化」が「好転」を上回る傾向が続いているが、大きな変化はなく横ばいの状況である。

・ 業種別では、鉄鋼・非鉄、金属製品、一般機器を除いて「悪化」が「好転」を上回る状況にある。

(5) 採算状況について

	黒字	収支トントン	赤字	(%)
全体	17.06	26.3	49.3	24.4
17.09	25.9	50.2	23.9	
17.12	26.7	52.0	21.3	
前回	18.3	28.4	51.0	20.7
今回	18.6	30.9	50.5	18.6

鉄鋼・非鉄

前回	29.2	58.3	12.5
今回	34.8	43.5	21.7

金属製品

前回	38.7	51.6	9.7
今回	41.4	48.3	10.3

一般機器

前回	42.9	48.6	8.6
今回	40.5	56.8	2.7

電気機器

前回	16.7	56.7	26.7
今回	29.2	41.7	29.2

輸送用機器

前回	23.8	52.4	23.8
今回	15.8	57.9	26.3

精密機器

前回	26.1	56.5	17.4
今回	31.6	57.9	10.5

縫製

前回	26.1	26.1	47.8
今回	18.8	31.3	50.0

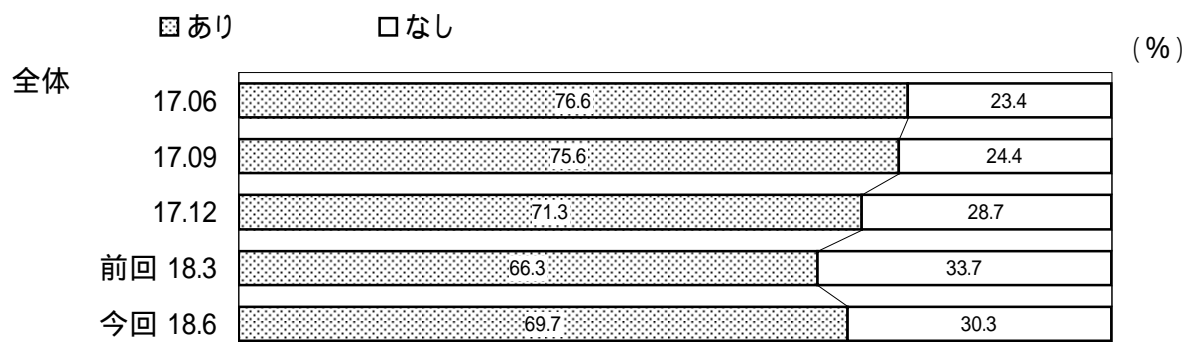
樹脂製品

前回	14.3	57.1	28.6
今回	19.0	61.9	19.0

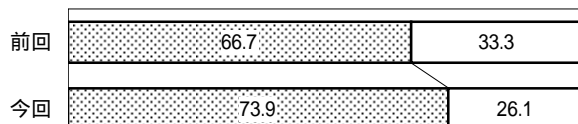
・ 全体では、大きな変化は見られないが、受注動向に連動して、緩やかに改善の傾向を示している。

・ 業種別では、輸送用機器、縫製で「赤字」が「黒字」を上回っているが、一般機器、精密機器、樹脂製品で「赤字」が減少している。

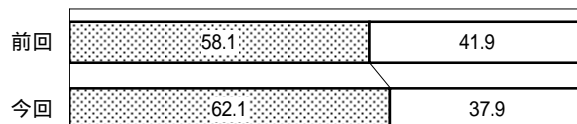
(6) 受注余力について



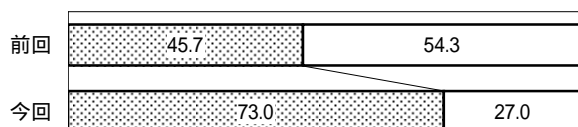
鉄鋼・非鉄



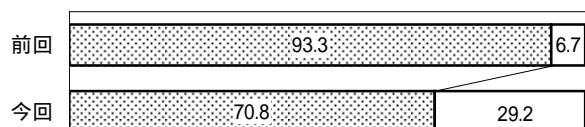
金属製品



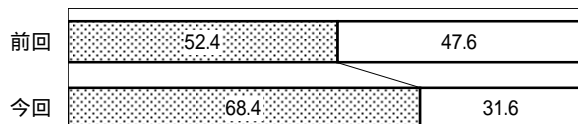
一般機器



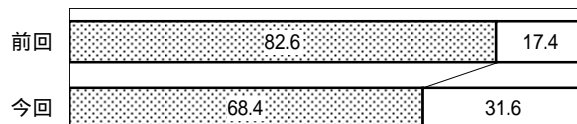
電気機器



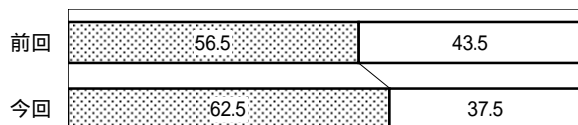
輸送用機器



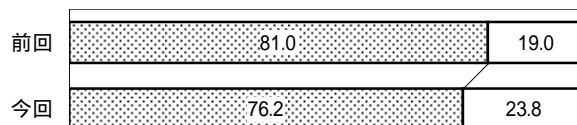
精密機器



縫製



樹脂製品



・ 全体では、2期連続で「受注余力あり」とする企業が7割を切る水準となったが、前回調査からは、3.4ポイント増加している。

・ 業種別では、電気機器、精密機器で「受注余力なし」とする企業が大幅に増加している一方、鉄鋼・非鉄、金属製品、一般機器、輸送用機器、縫製では「受注余力なし」とする企業が増加している。